

赤磐市の農業用ため池の状況

○届出状況

農業用ため池の数	うち防災重点農業用ため池の数	ため池管理保全法に基づく届出数

○ため池の管理・保全に係る取組

- ・ 赤磐市の農業用水は、市内を流れている旭川水系、吉井川水系及び市内に点在している688個のため池によりそのほとんどがまかなわれている。
- ・ ため池の所有者は赤磐市であり、維持管理（草刈り・水位調整）は地元で実施。
- ・ 大雨時には、岩田大池について低水位管理を実施。
- ・ 低水位管理に当たり農業用水の受益者と調整を行い、農業に支障とならない水位を経験則から決定。その結果、農業用水が大量に必要となる代掻き前は洪水吐きから約0.6m、それから後のかんがい期は約1m下げた水位で管理することになり、その高さに上下2門の排水樋門を設置し、状況に応じた低水位管理を行っている。

○ハザードマップの作成・公表状況

- ・ 133池の防災重点農業用ため池でハザードマップを作成し、各地区の集会所に掲示するとともに各戸に配布。

○多面的機能の発揮状況

- ・ 赤磐市では、旭川水系流域治水プロジェクトの取組として、田んぼダムの取組（47.7ha（R5現在））や、農業用ため池（岩田大池）の低水管理及び事前放流を実施。
いわたのおおいけ
- ・ 岩田大池は、大雨時に流出量を抑制するため、洪水吐きより下に排水樋門を設置し、大雨時に常に一定量の排水をすることで雨水貯留能力を高め、下流域の浸水被害リスクを低減。（農閑期で40,000m³の調整容量）
ひこぎのおおいけ
- ・ 日古木大池では、毎年水神祭を行っており、市長、水利組合長、区の役員等が参加し、豊作を祈念。
みんじゅんいけ
- ・ 民潤池では、消防団の一斉放水訓練を実施。



ため池管理の活動状況（穂崎地区 中次戸池）



消防団の一斉放水訓練の様子

同一ため池（岡山県赤磐市）

ため池の概要

名称：岩田大池（赤磐市河本）

①諸元

- ・ 堤高：9.5m
- ・ 堤長：143m
- ・ 総貯水量：62千m³

②管理形態

- ・ 所有者：赤磐市
- ・ 管理者：赤磐市
- ・ 維持管理者：河本区、長尾区

③事業実施履歴

- ・ H6単県事業にて一部改修済

名称：岩田大池（赤磐市岩田）

①諸元

- ・ 堤高：10.2m
- ・ 堤長：169m
- ・ 総貯水量：168千m³

②管理形態

- ・ 所有者：赤磐市
- ・ 管理者：赤磐市
- ・ 維持管理者：岩田区、穂崎区

③事業実施履歴

- ・ H10単市事業にて一部改修済

堤体が2つあり、ハザードマップを
各々作成している

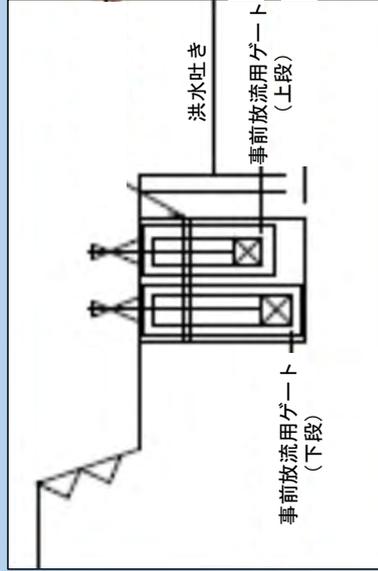
管理保全に係る取組内容

○管理体制

- ・ R2年度に水位計を1台設置し、赤磐市建設課代表メール等で確認
- ・ R4年度に事前放流用ゲートを設置し、大雨時に低水位管理を実施

○流域治水の取組

- ・ 周囲に大規模住宅団地があり、大雨時には越流堰を超え、下流の住宅にたどり及ぼしていた。また、関係地区と調整し従来から低水管理を行っていたが、洪水吐きより低位置に事前放流用ゲートがないため、雨水を貯留させながら一定量を排水することができなかった。
- ・ 洪水吐きより低位置に高さの異なる2門の事前放流用ゲートを設置し、かんがい期には上段のゲートを開け、大雨時にはそこから一定量の雨水を排水し水位上昇を抑制し、雨水貯留能力を高める。また台風シーズンなどの非かんがい期において、大雨が予想される場合には、受益者と協議を行い、下段のゲートを開け事前放流を行うことにより、雨水貯留能力を高める。



事前放流用ゲート図面

事前放流用ゲート写真

位置図・平面図



ため池水位計設置箇所位置図

